

令和7年（2025年）度行政評価シート【個表】

令和 7 年 6 月 20 日

評価対象事業		評価者	観光課長 中澤 準	
市民-14	観光協会支援事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	観光課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	6-(2) 観光	施策の方針	6-(2)-①観光振興の推進

1 事業の目的

対象	鎌倉市観光協会・観光客等
意図	様々な観光主体のネットワークの中心となり、観光宣伝と観光客誘致を行う鎌倉市観光協会の支援を図るため。
効果	観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

2 令和6年(2024年)度実施した事業の概要

<p>鎌倉の観光に係る様々な情報を効果的に発信するため、観光ウェブサイトの運営を連携して行い、観光客の利便性の向上を図った。</p> <p>鎌倉市観光協会の運営や鎌倉まつり、薪能等の事業に対する支援を行い、本市の観光振興の充実を図った。</p>
--

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和6年度		令和7年度	達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)		指標(目標値) 予算額(千円)	
01	観光イベント(鎌倉まつり、薪能)助成事業	鎌倉市観光協会運営費等補助金	観光客の満足度(%)	85.0 / 5,550	89.5 / 5,570	90.0 / 6,027	95.0%
02	観光協会助成事業	鎌倉市観光協会運営費等補助金	-	- / 41,026	- / 41,697	- / 45,854	-
03				/	/	/	
04				/	/	/	
05				/	/	/	
06				/	/	/	
07				/	/	/	
08				/	/	/	
09				/	/	/	
10				/	/	/	
		財源内訳	国県支出金	/	/	/	
			地方債	/	/	/	
			その他特定財源	/	/	/	
			一般財源	46,576 /	47,267	51,881	
			事業費の合計(千円)	46,576 /	47,267	51,881	
			人件費(千円)		787	854	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
会計年度任用職員	0	0	0	0	0	0

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、 目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、 構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	観光イベント(鎌倉まつり、薪能)助成事業	鎌倉まつりは、従来実施していた流鏝馬以外が実施された。	観光協会が実施している、観光に係る情報発信及び薪能や鎌倉まつりといった公益事業は、観光振興に寄与するものであり、妥当である。	費用対効果を見つつ事業の内容について、観光振興に大きな効果もたらさずよう事業となるよう検討する必要がある。
02	観光協会助成事業	指標の設定なし 観光協会の運営に係る費用を補助しているものであることから、指標の設定は難しいため。	観光協会が実施している、観光に係る情報発信及び薪能や鎌倉まつりといった公益事業は、観光振興に寄与するものであり、妥当である。	費用対効果を見つつ事業の内容について、観光振興に大きな効果もたらさずよう事業となるよう、検討する必要がある。 観光協会の安定的な運営や機動的な活動を推進するため、人員増や処遇改善等を行う必要がある。
03	0			
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-3 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-2 市民等と協働して実施する事業はない
		協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】 拡充 改善・変更 現状維持 縮小 休止・廃止
 観光に係る情報発信及び誘客等を行うことにより観光振興に寄与するとともに、観光協会が主体で実施する各種行事については、事業内容の見直しなどによる魅力向上及び経費の削減について協議していく。
 また、観光協会の安定的な運営や機動的な活動の推進について併せて協議を行っていく。

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	観光客の満足度						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
当該事業の実施により、観光客の満足度を向上させるため。	目標値	88.5	89.0	89.0	89.5	89.5	90.0	
	実績値	81.0	88.0	86.5	87.0	85.0		
	達成率	91.5%	98.9%	97.2%	97.2%	95.0%		

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	入込観光客数(上段:令和5年・下段:令和4年)単位:千人							
団体名	鎌倉市	藤沢市	横須賀市	逗子市	三浦市	横浜市	川崎市	箱根町
他市実績	12,284	19,608	8,911	853	4,709	54,291	15,726	19,510
	11,958	17,002	7,953	750	4,210	42,345	15,082	17,360

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	県内全市町村が実施している入込観光客数調査において、鎌倉市は県内5番目であるが、面積は4市よりも小さいことから、他市に比べて観光客が密集していることが伺える。
--------------------------	---